

舞台語発音法 II [通年]

講師：森本 覚（ハンガリー語）・松村 一登（エストニア語）・堅田 優衣（フィンランド語）
井上 勢津（ノルウェー語）・Karl Arne Jonsson（スウェーデン語）・堀口大樹（ラトヴィア語）
慶児 道代（チェコ語）・一柳富美子（ロシア語）・濱田 吾愛（スペイン語）

（水曜日19：30～21：00）

講義概要

《舞台語発音法II》では、《舞台語発音法I》ほど歌われる頻度は少ないものの、優れた合唱作品が多くある言語から、ハンガリー語・エストニア語・フィンランド語・ノルウェー語・スウェーデン語・ラトヴィア語・チェコ語・ロシア語・スペイン語を、各3～4コマずつ学びます。[全30回]

講師 プロフィール・メッセージ・シラバス

森本 覚（ハンガリー語）

Profile

東京音楽大学音楽学部器楽科（トロンボーン専攻）卒業後ハンガリー留学。帰国後、ハンガリー国立歌劇場およびブダペスト・オペレッタ劇場日本公演舞台通訳、字幕翻訳、コチャール・ミクローシュ、オルバーン・ジェルジュ、サボー・デーネシュなどの合唱指導やセミナーの通訳、カンテムス・ファミリー来日公演随行などを務める。

Message

日本でも多くの合唱団に親しまれているハンガリーの合唱曲ですが、ハンガリーという国、民族そしてハンガリー語についても、みなさんにご紹介できればと思います。そしてコダーイ、バルトークから引き継がれる合唱文化について、一緒に理解を深めていきましょう。

Syllabus

- 第1回 音声学とIPA (International Phonetic Alphabet)
- 第2回 ラテン語(1) ラテン語とは？ / ラテン語の声楽曲と全国各地の流儀 / 辞書や参考書の紹介
- 第3回 ラテン語(2) 古典式発音、イタリア式（教会式）発音、ドイツ式発音の概要。どの方式で歌うか、その考え方。
- 第4回 ラテン語(3) ラテン語とどう向き合うか / オンライン辞書ソフトの使い方(1)

松村 一登（エストニア語）

Profile

1953年1月 長野県生まれ；1976年4月：東京大学文学部卒業；2018年3月：東京大学定年退職。専門分野：ウラル言語学（フィンランド語、エストニア語ほか）。東京大学大学院時代（1978年9月～1981年5月）、東京外国語大学助手時代（1987年10月～1989年3月）にフィンランドのヘルシンキ大学に留学。エストニア語の勉強は最初の留学前から開始。ソビエト体制下では資本主義国の外国人には観光ビザ以外の取得は原則不可能だったが、留学中に頻繁にエストニア旅行し、タリンの言語文学研究所（現エストニア語研究所）やタルト大学を訪問した。1979年秋に約4週間、1987年秋～1988年春に6ヶ月間、運良く滞在ビザが下りて長期の現地経験。1991年6月～8月には、勤務先の東京外国語大学で、エストニア人言語学者と組んで約6週間のエストニア語集中講座を担当した。受講者12名。1990年代から、主にコンクールに出場する中高、市民の合唱団のエストニア語曲の発音指導を何度か依頼されたが、音楽教育を受けていない私が期待された役割を果たせたかどうかは心もとない。大学を定年退職後は年金生活。2021年10月から、朝日カルチャーセンター横浜教室で月2回のペースでエストニア語を初級から教えて、エストニア語との付き合いが続いている。

Message

エストニアは、バルト三国の中で一番北に位置し、人口的にもっとも小さい国(約136万人,2024年1月)。住民の67%(91万人)が母語として、17%(23万人)が第二言語として、エストニア語を話す。標準語は、系統的に非常に近い関係にあるフィンランド語と綴りがとてもよく似ているが、2つの言語は、予備知識なしに初めて聞くと、文ごと単純な短い文以外、母語話者でも相互理解は不可能に近い法や発音の違いがある。

エストニア人は歌の好きな民族と言われる。1869年から続くエストニアの「全国合唱祭」を皆さんもご存知かと。WEBには、エストニア人なら誰でも口ずさめる人気のある歌を多数、歌詞を見ながら聴けるサイトがあり、最も有名な歌はYouTubeで映像付きで聴ける。

本格的なコンサート演奏用の合唱曲も数多く作曲され、日本でも楽譜が手に入ると聞く。

音楽の専門知識のない私にできるのは一般的な発音指導だけですが、よろしくお付き合いください。

Syllabus

- 第1回 ・エストニアの地理・歴史概観、合唱祭の歴史 ・エストニア語の文字と音価
・母音の長さや表記：短母音、長母音、超長母音
 - 第2回 ・子音の長さや表記：短子音、長子音、超長子音 ・強勢とリズム、文法的特徴
 - 第3回 ・エストニアの合唱曲をYouTubeで聴き、歌詞の解説、発音練習
- 最終試験： ・母音字と子音字の読み全般 ・母音と子音の長さの区別（聴き分け、発音）

堅田 優衣 (フィンランド語)

Profile

桐朋学園大学音楽学部作曲理論学科研究科修了。フィンランド・シベリウスアカデミー合唱指揮科修士課程修了。自然な呼吸から生まれる声・サウンド・色彩的確にとらえ、立体的に構築することを得意としている。Noema Noesis芸術監督 指揮者、女声合唱団pneumaを主宰。これまでに、カワイ出版から「志士のうた」、フィンランド・スラソル社より「Ave Maria」「UPOPO」などを出版。2020年より多彩な表現を可能とする合唱指導法を研究。2022年にはJournal of Voiceより論文「心身に意識を向けるウォームアップの合唱演奏における効果」を発表した。東京都立大学大学院人間健康科学研究科客員研究員。

Message

フィンランドは、建築・デザイン・ファッションなど、洗練されたスタイルが国際的に支持を得ている芸術的な国です。音楽においても、独立100年余りの新しい国ならではの感性で、西洋ヨーロッパ諸国とは一線を画した独自の発展を遂げています。その思考や感覚の根底にあるのは、なんといっても「フィンランド語」！ 論理的な文法、性別や階層のないフラットな表現、そして弾むような言葉のリズムは、厳しさと優しさが共存したユーモアが満載です。一見とっつきにくいですが、発音や文法を少し知るだけですぐに歌える、実は取り組みやすい言語でもあります。講座内では、一緒に発音したり、辞書の引き方のコツなど、初めての方でもご自身で譜読みができるようなポイントをお伝えします。フィンランド語を学び、フィンランド合唱作品の魅力を分かち合えたらうれしく思います。ご参加お待ちしております！

Syllabus

- 第1回 **フィンランド語の特徴：** フィンランドの文化や暮らしをご紹介します。フィンランド語の発音や文法の特徴について学びます。アルファベットや母音/子音をはじめ、二重母音、母音調和など独特のルールに触れ、実際に声に出して読む練習をしましょう。また、接尾辞と呼ばれる「語尾変化」に着目し、辞書の引き方についてもご説明します。
- 第2回 **歌うためのフィンランド語：** 発音の文法のおさらいをしつつ、実際に合唱作品を使って、どのようにフィンランド語を歌うか考えていきます。文字では分からない母音の色（暗さや明るさ）、二重母音の処理、立体的に響かせるコツなど、音楽的な視点も踏まえて演奏に役立つようなポイントをお伝えします。
- 第3回 **フィンランド合唱作品の表現：** フィンランド音楽の特徴は、シンプルで立体的な構造です。楽譜から作者の意図を読み解き、どのように表現ができるか、アイデアをディスカッションしてみましょう。同じ単語でも、音色や声質によって、与える印象や意味は全く異なります。イメージする音色を、実際にどのように発語・発音すれば良いのかアドバイスしつつ、フィンランド語の音楽表現につなげていきます。

井上 勢津 (ノルウェー語)

Profile

学習院大学文学部哲学科卒業。東京音楽大学声楽専攻を経て、ノルウェー国立音楽大学に留学。ソグン・オグ・フィヨルダネ大学音楽療法コース及びベルゲン大学（グリーグアカデミー）修士課程修了。ノルウェーでの合唱経験を活かし、ノルウェー・ソリスト合唱団、ノルディック・ヴォイセス、ノルウェー少女合唱団などの来日公演に携わってきた。また合唱団へのノルウェー語歌詞の発音指導も多い。ノルウェー語からの単訳書に『わたしだって、できるもん！』、『アルネ&カルロス 北欧のガーデンニット』などがある。ノルウェー政府認定音楽療法士、ノルディックカルチャージャパン代表、東京音楽大学、東邦大学講師。

Message

日本でも近年、ノルウェーの合唱が話題となることが多くなりました。しかし、ノルウェー語を聞いて「これはノルウェー語だ」とわかる方も、「ノルウェー語」と聞いて言葉のイメージが浮かぶ方も少ないのではないのでしょうか。ノルウェー語の合唱作品に取り組んではみたいものの、言葉の壁を感じて躊躇してしまう方も多いはず。苦手というよりは未知の言語でよくわからないというのが正直なところであろうかと思えます。ノルウェー語は決して複雑な難しい言語ではありません。講座1回目では歴史と文化の視点からノルウェー語、ノルウェー語の合唱作品について概説します。2回目では簡易なテキストを使ってノルウェー語の発音について実践的に解説します。そして3回目は日本でも人気のグリーグの合唱作品を声に出して読み進めます。いずれの回でもノルウェーの合唱団による音源を使用します。合唱国ノルウェー。まだ日本では知られていない優れた作品が数多くあります。この講座が日本でのノルウェーの合唱作品演奏の一助になれば幸いです。

Syllabus

- 第1回 **ノルウェーの歴史、文化、言語について知る**
①グリーグが生きた時代 ②2つのノルウェー語 ③ノルウェーの合唱文化
*グリーグ作曲/エリクソン編：イェンディーネの子守歌 (Gjendines bårdnåt)
- 第2回 **ノルウェー語を発音する** ①特徴的な母音と子音の発音 ②特徴的な綴りと発音
*グリーグ作曲/ニーステッド編：駄馬へのおやすみの歌 (Fola, fola, blakken)
*伝承曲/ペダーセン編：陽が西に沈む (Ned i vester soli glader)
- 第3回 **ノルウェーの合唱作品を歌う**
*伝承曲/グリーグ編 (またはニーステッド編)：私は夜遅くに横になった (Jeg lagde meg så sildig)
*グリーグ：4つの詩篇 第1曲「うるわしきかな (Hvad est du dog skjøn)」 *グリーグ：春 (Våren)

Karl Arne Jonsson (スウェーデン語)

Profile

スウェーデンのダーラナ出身。翻訳家、スウェーデン語講師。現在、東海大学、外務省研修所、ディラ国際語学アカデミー、ビネバル出版/北欧留学情報センターなどでスウェーデン語の講師を務める。20年以上に渡り、入門から上級まで様々なレベルのスウェーデン語を教えている。様々なジャンルの音楽を愛するスウェーデン人。1997年より日本在住。

Message

スウェーデン人は歌う国民だと言われており、歌は「普通の人々」の間に深く根ざしています。コンサートホールに限らず、教会、学校、学生のパーティー、団体の集まり、親戚や友人との会食などでも歌声が響きます。人口わずか1,000万人強の国民のうち60万人弱もの人たちがどこかの合唱団に参加し歌っているのです。スウェーデン国教会には聖歌隊が5,000以上あり、約9万人がほぼ毎週活動に参加しています。

多くの人々は、幼いころから学校で合唱の楽しさに触れ、その後は生涯を通じてどこかの合唱団で歌い続けています。複数の合唱団に所属するか、たまに参加して歌うか、合唱に参加する形は人それぞれです。

合唱で歌われるスウェーデン語はどのように響くでしょうか？ スウェーデン語の発音は？ スウェーデン語で歌を歌うのは難しいのでしょうか、それとも簡単？ この短いコースでは、アルファベットの読み方から始めてスウェーデン語の発音の基礎を学びます。母音と子音、単語と文章のイントネーション、そして日本語にない発音のポイントなどを取り上げて練習していきます。最後のレッスンでは、スウェーデンで愛されている民謡を2～3曲紹介します。

Syllabus

- 第1回 アルファベットの読み方と母音と子音など発音の基礎。
- 第2回 スウェーデン語の特徴的なイントネーションと日本語にない発音の練習。
- 第3回 スウェーデンでよく知られた民謡を2～3曲紹介します。

堀口 大樹 (ラトヴィア語)

Profile

1984年群馬県生まれ。東京外国語大学大学院博士課程修了。現在京都大学人間・環境学研究科准教授。専門はバルト語学・スラヴ語学。主な著作に『ニューエクスプレスプラスラトヴィア語』（白水社、2018年）。多くの合唱団へのラトヴィア語の発音指導や訳詞提供を行ってきたほか、ラトヴィア語専門の合唱団ガイスマの団員として5年に一度行われるラトヴィア歌と踊りの祭典に3度参加（2013年、2018年、2023年）。NHKBS1スペシャル「ラトヴィア100年物語～歌と踊りでつないだ誇り～」(2018)取材協力。ラトヴィア語の通訳・翻訳にも従事。

Message

「歌いながら生まれ、歌いながら育った。歌いながら一生を全うした」「どんな不幸が起こっても不幸を嘆いたりはせぬ。不幸は石の下に置き、歌いながらまたぐだけ」。これらは有名なラトヴィアの民謡の一節です。ある民族を動詞で表すとしたら、ラトヴィア人には「歌う」がぴったりです。歌う文化の最大の象徴は、5年に一度行われる歌と踊りの祭典です。この祭典の一番の目玉は、民族衣装を着た約1万3000人からなる大合唱団です。21世紀のヨーロッパで、民族衣装を着たこれだけの人が一同に会し、自分たちの文化や伝統を確認し合う姿を見られる機会はなかなかないかもしれません。

Syllabus

- 第1回 ラトヴィア語の概略（文字、発音、文法、語彙）と文化
- 第2回 歌う文化～フォークロアと歌と踊りの祭典
- 第3回 ラトヴィアの民謡と合唱曲演習

慶児 道代 (チェコ語)

Profile

ブラハ芸術アカデミー (HAMU=音楽学部) 修士課程、博士課程を修了。1994年国際ドヴォルザーク声楽コンクール3位入賞 (日本人初)。同時にチェコの歌曲集とチェコオペラ・アリアの最優秀演奏者賞受賞。シャルダ記念オペラ劇場 (専属)、ブラハ国民劇場 (専属客演)をはじめ、チェコ国内の歌劇場でソリストとして活動。「売られた花嫁」マジェンカ (スメタナ)、「ジャコバン党員」テリシカ (ドヴォルザーク)、「利口な女狐の物語」雄狐 (ヤナーチェク) ...他で出演。また、グラゴル・ミサ(ヤナーチェク)、幽霊の花嫁、スタバト・マーテル (ドヴォルザーク) ...他でソプラノソロとして出演。チェコ歌曲ではチェコ語の発音、表現に定評があり、チェコ国営ラジオ局、TV録音多数。チェコ・パルドゥビツェの音楽院で声楽科教諭として勤め、歌唱時におけるチェコ語発音の指導では、発見が多いと現地学生に好評。

Message

Dovrý den! (ドブリーデン) こんにちは。

チェコ語発音講座の講師を務めさせて頂きます慶児道代 (けいこみちよ) と申します。私がチェコに飛んだ1993年には知られていなかったチェコの音楽作品が、近年世界中で演奏される様になり、日本でも関心が高くなっている事を、非常に嬉しく思っております。4の付く年はチェコ音楽の年と言われるほど、チェコ人作曲家の記念年が多い年で、(スメタナ1824年生、ドヴォルザーク1904年没、ヤナーチェク1854年生...など)、今年2024年は、スメタナの生誕200年。こんな素敵な年に皆さんと一緒にチェコ語の発音を学んでいける事、ありがたく幸せに思っております。チェコ語の発音は、他の言語同様、もしかするとそれ以上にカタカナ表記が「無理」なものが多く、口の中で起きている事が解らないうちは、耳で聞いて真似るとい事も難しい。講座では、まず発音の基礎 (理解するのは難しくありません!)を知って頂きます。チェコ人の言う、柔らかい発音と硬い発音が何を指しているのか?など、私が実際にチェコで学び、歌い、現地のチェコ人学生を教え、コロナ禍にオンライン講座で日本人を教えた経験を基に、具体的に説明いたします。それを元に、実際に言葉の意味を感じながら発音を体感し、微妙な感覚をじわじわと脳と身体に染み込ませていって頂きます。真似に留まらず、一語でも、ワンフレーズでも、ご自分の言葉として歌って頂ける様になると良いなあと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

Syllabus

【講座目標】 ・チェコ語発音における多様な舌の働きを体感・認識する。 ・感情表現に役立つチェコ語母音の扱い方を理解する。
・講座内で扱った作品を、一定のテンポでリズム読みできる様になる。

第1回 《チェコ語のアルファベットと発音の基礎》

- ・「^h」チャールカ、「^o」クロウジエク、「^l」ハーチェックの示す意味と発音上の役割を知る。
 - ・チェコ語における特徴的な舌の使い方を体感・認識する。
 - ・実際の発音を認識した上で、複雑な発音の歌唱時の対策について考える。(個別指導)
 - ・簡単な単語、短い文章を読む。※!重要!この回で行った説明、考察を基に今後の授業を進めます。
- 【宿題】: 講座内で読んだ単語・文章を次週まで復唱しておく。

第2回 《チェコ語を歌う》

- ・チェコ語の作品を題材に、母音の無い単語を歌うコツを体感する。
 - ・チェコ語を歌う上での、母音ラインの大切さと子音の扱いを理解する。
 - ・楽曲のリズム読みが一定のテンポの中で出来る様になる。
 - ・次週で扱う楽曲の説明。
- 【宿題】: 次週で扱う楽曲のリズム読み (最低8小節)を試みる。

第3回 《チェコの合唱作品を歌う》

- ・楽曲のテキスト発音 (柔らかい発音、子音のみの単語、母音ラインなど)を確認する。
- ・テキストの内容に触れて、感情を込めて発音する。
- ・テキストの内容を踏まえ、一定のテンポを保ってリズム読みをする

一柳富美子 (ロシア語)

Profile

音楽学者、声楽指導者。東京外国語大学卒、東京藝大大学院修了。国際音楽学会シオスタコーヴィチ班アジア代表委員。ロシアオペラ・声楽とピアノに特に造詣が深い。大曲50以上、歌曲1000曲以上を邦訳。ロシア語声楽指導者としては日本人唯一で、ロシア人を含む内外の指揮者やコレペティが絶賛。東京藝大声楽科で10年間演習・実習授業を担当、演奏現場では独自のディクシオンテキストを用いて、100以上のプロダクションで指導。新国立劇場2022年《ボリス・ゴドゥノフ》、2024年《エウゲニ・オネーギン》では独唱・合唱言語指導・字幕・作品解説を担当。発音するロシア語を体系的に纏めた「歌うロシア語」(2021、日本ロシア語教育学会誌)等論文・著書多数。

Message

ピアノや管弦楽の世界ではメジャーなロシア音楽ですが、キリル文字習得が必須の声楽界ではまだまだマイナーです。しかし、独仏伊の音楽が出尽くした感のある21世紀、レパートリーにロシア物が加われば、貴方の声楽の世界は飛躍的に広がるはず。インド・ヨーロッパ語族の中でもロシア語はイタリア語に次いで母音が多い大言語。特に語末に母音が置かれることが多い「開いた言語」で、歌に大変適しています。私の経験上、ロシア語のディクシオンを正しく身に着けると、他の欧州言語の歌唱も確実に向上します。僅か4回ではありますが、ロシア音楽とロシア声楽実践に関して一通りのことを学ぶには不足ない時間です。ロシアを震源とした不安定な国際情勢下において、大半のロシアの音楽家たちも苦悩しています。一方的にウクライナ支持を叫ぶのではなく、改めてロシアの音楽文化を見直し、その力を信じて人々の心に平和を訴えてみませんか。

Syllabus

第1回 「ロシアの音楽の世界を覗こう」 ロシアという地域の紹介。ロシア音楽史。ウクライナとの関係にも言及。19世紀以降のロシア音楽文化、日露音楽文化交流史。普及している情報の誤りもバンバン修正する。

第2回 「歌うロシア語」 現代ロシア語文法の基本ルールと、キリル文字33の紹介、発音・歌唱上の重要な注意点。教会スラヴ語の歴史と発音。独自のディクシオンテキストを併用した演習導入。次回キリル文字確認テスト実施。

第3回 「ロシア語で歌おうⅠ」 音符とロシア語との有機的関係を、歌いやすい歌曲・教会音楽とオペラアリアで実際に体験してみよう。曲目は、参加者の声域を考慮して複数用意する。

第4回 「ロシア語で歌おうⅡ」 実際の声楽作品を一人ずつ歌って、Zoomレッスンする。人数が多い場合は希望者優先の選抜とする。最後に簡単なテストを実施(形式未定)。

Profile

神奈川県生まれ。幼いころより音楽評論家の父・滋郎の影響で、ジャンルを問わずさまざまな音楽に親しむ。立教大学英米文学科卒業後、音楽出版社勤務を経てフリーランスのライターとなる。2004年より東京藝術大学でスペイン音楽を講義。1993年よりエンリケ坂井氏にカンテを師事。各地でライブ活動を行うほか、スペインでシンポジウムや公演に参加する。近年ではコンクール審査にも携わる。2013年NISSEI OPERA『アイナダマール』にてスペイン語言語指導及び作品解説を担当。2023年国立西洋美術館『スペインのイメージ～版画を通じて写し伝わるすがた～』関連イベント「スペイン舞踊とトーク」にて解説及び歌唱を担当。2010年『物語で読むフラメンコ入門』出版。2011年カンテクラス開設。日本サルスエラ協会理事。

Message

スペイン語は、本国スペインをはじめ、かつてスペインに関係のあった中南米諸国でも広く公用語とされる言語です。いま世界で、スペイン語を第1言語として使う国は21カ国以上、スペイン語人口は世界で5億7700人とされています。国連でも、6つの公用語のひとつです。そのようにデータを並べて堅苦しく考えなくとも、私たちの日常に、スペイン語は結構使われています。車の名前やお店の名前、スポーツチームの名前などなど。レストランやカフェでスペイン風のメニューを見かけることも珍しくなくなりました。このスペイン語を使った魅力的な楽曲が、スペイン語圏の国々には数多く存在します。スペイン語の発音は「ローマ字と同じで簡単」と言われたりしますが、そこにはやはり独特のツボがあります。ツボをしっかりと押えて、喉と心に心地よいスペイン語の世界を味わいましょう。

Syllabus

- 第1回 基本的な発音について：発音と綴りの関係
- 第2回 スペイン語の特性：発音のしやすさと落とし穴(カタカナ発音にならないために)
- 第3回 代表的な声楽作品：時代ごとのおもな特徴、主要作品を紹介。対面ならば実際に取り上げる作品の解説、ディクソンまで。
- 第4回 歌ってみようスペイン語の歌：実際に作品を取り上げ、その背景、ディクソンを学ぶ。対面ならば歌唱まで。